

議会報告会報告書

令和 7 年 5 月 1 6 日

多摩市議会議員 殿

報告者 議会運営委員長 大くま 真一

議会報告会の結果について、次のとおり報告します。

開催日時	令和 7 年 4 月 2 0 日（日曜日） 1 4 時 0 0 分 から 1 5 時 4 0 分 まで		
開催場所	パルテノン多摩 オープンスタジオ		
出席議員	司会	大くま真一	議員参加 人数合計
	記録・報告	池田けい子、小林憲一、藤原マサノリ、渡辺しんじ、本間としえ子	
	その他議員	三階道雄、橋本由美子、おにつかこずえ、中島律子、藤條たかゆき、折戸小夜子、しらた満、上杉ただし、いちち恭子、岸田めぐみ、岩崎みなこ、しのづか元、あらたに隆見、きりき優、石山ひろあき、松田だいすけ、いいじま文彦、大くま真一	2 3 名
参加人数	36 名 （大人 33 名、子ども 3 名）		
報告会の 内容等	報告内容	・ 令和 7 年度予算審査について（池田けい子予算決算特別委員会委員長） ・ 委員会報告（二年間のテーマ） > 総 務：市民生活と市の業務に関する D X について > 健 康 福 祉：認知症の方及びそのご家族が地域で安心して暮らすための支援について > 生 活 環 境：地域公共交通について > 子ども教育：子ども・若者への支援について	
	参加者の 意見・質問	・ 都営諏訪団地の今後について > 都の予算にかかわる部分と説明の上、ご意見として聞き置くこととした。 ・ 補正予算で成立した、非課税世帯等へのエアコン購入助成について、手続きを経て購入となると遅くなる。すでに早い時期から暑い日が続いており、もう少し早くすることは出来ないのか。 > 補正予算の質疑のなかで、議会側からも同様の意見が出ています。 ・ 認知症の大きな部分が、加齢による難聴を原因とする。補聴器の購入助成を行ってほしい。 > 同様の意見が、複数の会派から市に対しても出されている。 （終了後） ・ 意見交換の時間をもっと確保して欲しい。 （委員会ごとの意見交換については別紙）	

議会報告会報告書【総務常任委員会】

令和 7 年 4 月 2 2 日

多摩市議会議長 殿

報告者 上杉 ただし

議会報告会の結果について、次のとおり報告します。

開催日時	令和 7 年 4 月 2 0 日（日曜日） 1 4 時 0 0 分 から 1 5 時 4 0 分 まで		
開催場所	パルテノン多摩 オープンスタジオ		
出席議員	司会	いぢち議員	議員参加 人数合計 5 名
	記録・報告	上杉議員	
	その他議員	いいじま議員、小林議員、三階議員	
参加人数	1 2 名		
報告会の 内容等	報告内容	総務常任委員会での市民との意見交換会について	
	参加者の 意見・質問	市民：ケアマネージャーをやっており認定調査をやっている。タブレットを使って業務を行うことは業務効率化につながると思う。しかし、市の職員はタブレットを使って業務を行うことをいいと思うが、委託業者もタブレットを使っての業務を行うということになれば、個人情報の情報流出や目的外利用がされるのではないか。 小林委員長：視察に行った横須賀市では、これまでは相談者から聞き取ったことを用紙に書き、事務所に戻ってから用紙に書いた情報をパソコンへ入力することを行っていた。タブレットを使うことで直接聞き取った情報を入力できるため時間短縮につながるということだった。意見を書く欄もタブレットがこれまでの入力を記憶・学習するなど便利な機能がある。 委託業者によってはタブレットの利用ができないというところもあり、横須賀市全体でタブレットを使った業務が行われているわけではない。情報流出の対策としては、利用しているネットワークが外部のネットワークにはつながらない仕組みになっているため、基本的に情報漏洩はないという説明を受けている。 多摩市では令和 8 年度から導入予定となっている。 市民：多摩市でも市の職員と委託業者に対してタブレットが配備されるのか。 小林委員長：そうなると思うが、横須賀市と同じように使えない事業者があるかもしれないため、いきなり全事業者一斉にというわけではなく段階的な導入にな	

	っていくのではないかと。横須賀市では、認定調査はタブレットを利用するようになってから1日3件程度だったものが4件程度になってということだが、一次判定、認定審査会まで通してみれば、あまりスピードアップにつながっていないということも伺っている。 市民：ネットにつながっていないのであれば、すぐに反映されるわけではないと思うのでこれまで通り、用紙に書いてやる方法でもいいのではないかと。 小林委員長：LG-WAN と呼ばれているネットワークで内部のネットワークにつながるが外部のネットワークにはつながっていないものを利用している。 市民：多摩市で DX についてどういうスケジュールでどの程度までやろうとしているのか。選評的なことについて伺う。また、先ほど説明の中で、ベンダーがなかなかいないという説明があった。ベースは国が作っているシステムを自治体ごとに合わせてカスタマイズしていくということになるのか。 小林委員長：ガバメントクラウドは国が借り上げたクラウドを使って各自治体の業務を行っていくもの。基幹系20業務については、国からガバメントクラウドを使って業務を行うように言われている。ただこれらの中には、ベンダーの都合で、来年の3月までには移行が難しいものもある。ガバメントクラウドに移行するのは、全部の自治体が一斉に切り替えるためベンダーの業務がひっ迫している。また、多摩市独自でシステムをカスタマイズしていくものもある。 市民：セキュリティは本当に大丈夫なのか。セキュリティは大丈夫と答える人が多いが、どういう理由で大丈夫なのかポイントを押さえているのかが重要。情報が一度外に出てしまったらもう戻すことはできない。悪意のある人はもちろんベンダー側にも情報を持ちだしてしまう人がいるかもしれない。多摩市役所内にそのような不正を監視できる人はいるのか。 小林委員長：多摩市の民間保育園では、連絡帳などのシステム化を業者に委託している。システム化されることにより子どもの情報漏洩や目的外利用されるのではないかとということを心配する声もある。 市民：議会として、そのような懸念事項に対してどのように対応していくのか。 小林委員長：議会としては、そのようなことがないように対応していきたい。 市民：DX 推進を担当している所管は情報政策課でいいのか。 小林委員長：情報政策課になる。基幹系20業務については、情報政策課を中心として各担当所管が協力してやっている。
--	---

		市民：情報管理の最高責任者は市長になると思う。そのもとで誰が実務を行い、市議会はどのように監視をしていくのか。市議会としても定期的に情報管理ができているか確認していく必要があると思う。 小林委員長：市長のもとでの実務上のトップは企画政策部長となる。 市民：民間ではセキュリティ管理はかなり厳密にやっている。そのレベルで多摩市が同じようにセキュリティ対策ができるか懸念事項だと思う。基幹系20業務の内容はほしい人ならよだれが出るくらいほしい情報だと思う。様々な手段で攻撃されることが予想される。そのような攻撃に対してしっかりと防御していくことが必要。きちんとした体制を作るべき。 私物が持ち込めない等、高次元の管理が必要。 三階議長：個人情報のことは、委員会として再度担当所管にヒアリングするなどしてもいいかもしれない。ガバメントクラウドのセキュリティは民間よりも厳しいものになっていると思っている。ネットワークも外部へつながらない構成になっているなど対策もしている。さらに詳しいところは、またヒアリングしてみたいと思っている。
--	--	--

議会報告会報告書【健康福祉常任委員会】

令和 7 年 4 月 2 1 日

多摩市議会議員 殿

報告者 藤條 たかゆき

議会報告会の結果について、次のとおり報告します。

開催日時	令和7年4月20日（日曜日） 14時00分 から 15時40分 まで		
開催場所	パルテノン多摩 オープンスタジオ		
出席議員	司会	藤原 マサノリ	議員参加 人数合計
	記録・報告	藤條 たかゆき	6 名
	その他議員	池田 けい子、きりき 優、折戸 小夜子、しのづか 元	
参加人数	11名		
報告会の 内容等	報告内容	委員長報告による	
	参加者の 意見・質問	Q 認知症施策に関して認知症カフェが重要で増やしたいとのことだがその対策として具体的にどうなるのか、増えるのか。私はオレンジパートナーだが、何か手伝えることがあるのか、個人単位ではわからないので行政として具体的な指導はないのか。 A カフェが具体的にいくつ増えるのかわからないが、どういう形があるのか民間とも連携して進めたい。オレンジパートナーに関して、どうやって活動していいかわからないというマッチングの課題がある。マッチングができる仕組みは市の職員ではスキルがないので、ノウハウがある所が運営する仕組みを提案したい。 Q たまり場・居場所をつくりたい。障害福祉つむぎで、訪問介護移動支援など行なっていたが、移動支援をやめた。利用者の言葉の聞き取りなど現場には細かい大変さがある。その大変さの理解が、行政・職員は弱いのではないか。意見として。 A ヘルパーさんの処遇改善、市だけの対応は難しいが国としての制度の充実を訴えたい。 Q 要約筆記、市に登録して活動しているが活動費が少ない。1時間1,500円で交通費含む。 A 賃金であれば最低賃金が適用されると思うが、報奨金だからいじれない。	

議会報告会報告書【生活環境常任委員会】

令和 7年 4月20日

多摩市議会議長 殿

報告者 岸田 めぐみ

議会報告会の結果について、次のとおり報告します。

開催日時	令和7年4月20日（日曜日）14時00分 から 15時40分 まで		
開催場所	パルテノン多摩 オープンスタジオ		
出席議員	司会	生活環境常任委員長 渡辺しんじ	議員参加 人数合計
	記録・報告	記録：岸田めぐみ	6 名
	その他議員	橋本由美子 しらた満 石山ひろあき おにづかこずえ	
参加人数	6名		
報告会の 内容等	報告内容	2年間のテーマ 「地域公共交通について」	
	参加者の 意見・質問	○ミニバスの路線廃止に納得できない。廃止されたバス路線である市役所～永山駅を復活させてほしい。 →ミニバスは廃止が決定したのではなく、協議段階である。昼間の乗車率は低い等の課題があることはわかっているが、一定の利用者もいるので、粘り強く働きかけていきたいと我々も考えている。 ○委員長報告のミニバスについての話がよくわからなかったので、もう一度説明をお願いしたい。 →赤字路線であり、運転手を充てるのが厳しいので廃線を視野に入れて協議したいとバス事業者から申し入れがあった。 ○市議会として、乗降者の人数だけで判断するのではなく、坂が多い等の地理や生活の足としての必要性を見て継続に向けて動いてほしい。 →皆さんの思いと一緒にである。しかし運転者不足や赤字解消の課題解決は難しい。都や国に働きかけていきたいと考えているし、皆さんと一緒に考えていきたい。 ○委員長報告にあった、桜が丘の移動を考える会が行っているボランティア活動は、良い方法の一つであると思う。	

議会報告会報告書【子ども教育常任委員会】

令和 7 年 4 月 2 4 日

多摩市議会議長 殿

報告者 松田 だいすけ

議会報告会の結果について、次のとおり報告します。

開催日時	令和 7 年 4 月 2 0 日（日曜日） 1 4 時 0 0 分 から 1 5 時 4 0 分 まで		
開催場所	パルテノン多摩 オープンスタジオ		
出席議員	司会	本間としえ	議員参加 人数合計
	記録・報告	あらたに隆見、松田だいすけ	6 名
	その他議員	岩崎みなこ、あらたに隆見、大くま真一、中島律子、松田だいすけ	
参加人数	9 名（うち子ども 2 名）		
報告会の 内容等	報告内容	議会報告会子ども教育常任委員会・意見交換会	
	参加者の 意見・質問	・乳幼児の家庭訪問について 子ども家庭庁が始めた子供世帯訪問支援事業について多摩市ではどうしているのか。 ⇒多摩市でも出産後の産後ケアで訪問もしている 家事支援については多摩市の子ども家庭サポーター派遣事業を行っている。 ・育児相談が 保健指導 家事育児指導にわかれた。家事育児のサポーター支援事業として行っている。請け負う団体が少ない 4 社が現在は 3 社に今でも 2 時間・3 時間・4 時間とニーズは増えている。補助金が少なく手があげる事業者がない。賃金が安いのでやりたいという人がいない。子育て中心とは文字だけではなく皆がやりたくなるような賃金が払える予算をつけてほしい。利用時間も増えたが、今まで 3 人いけたところも人がいないので時間が増えた分 2 人しか行けない、待っている人が増えた。 ⇒需要に対して受け手がいないという課題はわかったので調査する。 ・支援には民間の力が必要言うことになるのか。 ⇒選べる多様なサービスを行うには民間の力が必要であると認識している。	